

東中だより

令和7年12月22日発行

<http://www.hgj.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/>
岩国市立東中学校 〒740-0016 岩国市三笠町 2-1-9

校長のつぶやき



部活動が変わる今、学校が守るべき “日常の教育力”

校長 倉本 敦

激動の2025年も、残すところあとわずかとなってまいりました。皆さまにとっての2025年はどのような1年だったでしょうか。今年最後のつぶやきは、「部活動の地域展開」についてです。

かつて、本校には、20以上もの部活動がありました。放課後や休日の学校では、生徒の元気な声、やる気に満ちた表情、そして目標に向かって努力する姿があふれていました。本校の誇りの一つは、まさに“部活動がつくる学校文化そのもの”だったと感じています。

しかし、少子化が進み、生徒数が減り、それに伴って教職員の定数も減少してきました。同じ教育の質を維持したくても、支える大人の数が減っていく現実があります。さらに、国は「持続可能な学校の環境づくり」として、部活動の地域展開を全国的な方針として示しました。本校としても、かつての形を守ることで、これからの子どもたちに最善の環境を残せないと判断し、本校独自の視点で、段階的な部活動改革に取り組

「その瞬間」にそ、子どもを一回り大きく育てる「最高の瞬間」であることを知っているからです。相手をリスペクトすることは、その子の人生を支える大きな力になる。そのことを教える絶好の機会であることを、肌で感じているからなのです。



しかし今、社会は明確に教員の働き方改革を求めています。過度な長時間労働を前提にした教育活動をこれ以上続けるはならない。これは「教員を守るため」だけでなく、「子どもを守るため」の改革でもあります。

では、部活動の地域展開が進んだこれからの学校で、人間形成はどう行われるのでしょうか。その答えはひとつです。「部活動に頼らない生徒指導・学級経営・授業づくり」こそが、これからの教員の真価となると思います。以前は、部活動での関わりが、生徒の態度や心を動かす大きな力となっていました。かつての私のように、部活動指導“だけ”に重きを置く教育では、子どもたちの未来を十分に育むことはできません。

これからの学校は、部活動以外の“**日常の教育力**”が、これまで以上に問われるということです。教員の「部活動以外での指導力」が問われる時代がやってきたのです。学校の本来の力がより明確に求められる時代とも言えます。

今後、部活動の姿は変わっていきますが、子どもたちを大切に育てたいという思いは、これからも変わりません。部活動で育ててきた「礼儀・責任・協力・根気・挑戦・思いやり・感謝」を、授業を始めとした教育活動全体で「意図的に再構築」します。むしろ、日常の教育の質が改めて問われることで、学校はいっそう「**子どもたちの成長の原点**」としての力を強くするはずです。

しかし、学校だけでは、とうてい抱え込めません。地域の方々と協力して、子どもたちの活動の幅を広げます。保護者の皆さまとの連携も、よりいっそう必要になってきます。変化の中だからこそ、学校と家庭、地域が手を取り合うことが大切です。皆さまと一緒に、子どもたちの成長を温かく見守り、支え続けてまいります。

年の瀬にも関わらず、私の「勝手なつぶやき」にお付き合いいただきまして、ありがとうございました。今年一年お世話になりました。どうぞ皆さま、よいお年をお迎えください。



んでいます。本年度、3つの部活動が廃部になりました。軟式野球部は、すでに来年度のクラブ化に向けて準備をしていますので、2026年度スタート時点で本校の部活動は、運動部と文化部を合わせて7部ということになります。

一方、「部活動を通した人間形成はどうなるのか」、「人間形成の機会が減るのではないか」等、地域の皆さんから、心配の声を伺うことがあります。私自身、不安がまったくないわけではありません。なぜなら、私は、学生時代の部活動で育ててもらったし、部活動を通して子どもたちを育てたいという思いが、私の教員としての原点だからです。

部活動の練習試合などで、たまに見かける光景ですが、子どもが相手への敬意を欠く行為をしてしまうことがあります。そのたびに部活動顧問は、厳しく真剣に指導してきました。なぜなら、部活動顧問たるもの、

世代交代の時・生徒会長・副会長決定！

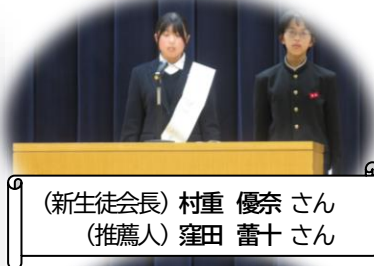
12月4日（木）生徒会役員選挙が行われました。

生徒会長候補に8年生の 村重 優奈さん、副会長男子候補に7年生の 礪本 瑛晨さん、同じく副会長女子候補に8年生の 中川 日鞠さんが立候補しました。立会演説会において、3名の立候補者は、それぞれの考えや公約を堂々と述べていました。その他の生徒は真剣に候補者の話を聴いており、全校生徒でよい緊張感を作り出すことができました。その後の投票も滞りなく進み、開票の結果、3名全員が信任票を獲得し、次期生徒会の中核を担うこととなりました。また、事務局員や各専門委員長については、新生徒会長・副会長と生徒会担当の教員などで検討を重ねている段階です。終業式で、新生徒会役員の顔ぶれを紹介するとともに、新旧役員の退任・任命式を行う予定となっています。

世代交代の時が迫っています。全校生徒が、脈々と受け継がれてきた東中の歴史や文化を感じ、自分たちの手で、よりよい東中学校をつくってほしいと思っています。



3人の候補者と選挙管理委員



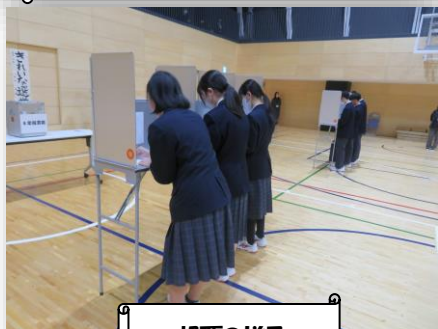
(新生徒会長) 村重 優奈 さん
(推薦人) 窪田 蕾十 さん



(新副会長) 礪本 瑛晨 さん
(推薦人) 海老原然路 さん



(新副会長) 中川 日鞠 さん
(推薦人) 海老原和喜 さん



投票の様子

給食試食会実施



昨年度に引き続き、12月11日（木）「給食試食会」を実施いたしました。生徒も教職員も、毎日わくわくが止まらない給食・・・この日の献立は、『クロックムッシュ、ラビオリスープ、フルーツミックス、ごまなしミニフィッシュ、牛乳』というフランス料理でした。参加された皆さんは、口々に「おいしい〜!」、「たくさんの具が入っていて栄養満点ですね」など、大いに感激されている様子でした。次回開催の折も、多くの皆様にご参加いただき、調理員さんの「愛ある給食」を是非ご堪能ください。



給食試食会の様子



tres bien !

1月の行事予定		※12/22現在のものです。	
日	曜	行事など	給食
1	木	元日	
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		
6	火	生徒会リーダー研修会 (8:30~)	
7	水		
8	木	始業式、習熟度テスト (9年)、冬休み課題テスト (7・8年)	○
9	金	専門委員会	○
10	土		
11	日	東地区どんと祭り (北グラウンド)	
12	月	成人の日	
13	火	東中あいさつ運動、9年個人懇談 (希望者)	○
14	水	職員会議 (※部活動中止)	○
15	木		○
16	金		○
17	土		
18	日		
19	月	S C 来校	○
20	火	入学説明会 (小瀬小)、柳井学園高校一般入試	○
21	水	(※部活動中止)	○
22	木		○
23	金	入学説明会 (東小)、聖光高校一般入試	○
24	土		
25	日		
26	月	S C 来校	○
27	火	高水高校一般入試 (9年: 受験者以外は3校時まで)、習熟度テスト (7、8年)	○
28	水	(※部活動中止)	○
29	木	専門委員会、学校運営協議会	○
30	金	ひがし学園合同研修会 (※部活動中止)	○
31	土		

2学期も、残すところあと数日となりました。

保護者ならびに地域の皆様には、大変お世話になりました。いよいよ25日（木）から、冬休みが始まります。年末年始は楽しい行事が盛りだくさんですが、この一年を謙虚に振り返り、心穏やかに2026年の幕開けを迎えたいものです。ご家庭でのお子様のご指導をお願いいたします。なお、岩国市では、冬季休業中においても市立小・中学校の閉庁日を設け、学校運営の改善や省エネルギー対策等を図ることとしています。今年度は12月26日（金）を学校閉庁日としています。その間、緊急時は、岩国市教育委員会を通して学校長へ連絡が入ることとなっています。緊急の際は、岩国市教育委員会学校教育課(電話:0827-29-5203)へご連絡いただきますようお願いいたします。